

スーアイ音楽プロジェクト2022 Vol.2

スーアイの楽器と トルコオリエント音楽コンサート

民族楽器が脳の活性化へ与える影響

～仁科エミ先生による解説～

6/26 SUN

13:30 開演(開場
13:00)

東京ジャーミイ新館地下1階
エルトゥールル講堂
千代田線・小田急線
代々木上原駅より徒歩5分

【出演】

仁科エミ(解説・東京大学工学博士, 放送大学情報コース教授)
ムハンメット・リファット・チナル氏(スーアイの歌)
ウエダタカユキ(ウード、他)
石田秀幸(ネイ)
石田みか(タンブル)
ノミヤタカコ(パーカッション)
鈴木未知子(カーネン)

TICKET
完全予約制



¥4000



【主催】

Tokyo modal music lab

【後援】

宗教法人東京ジャーミイ・ディヤーナト トルコ文化センター

一般財団法人ユヌス・エムレトルコ文化センター

NPO法人一期 JAM

文化庁「ARTS for the future! 2」補助対象事業



スペシャル交流会
¥1000(トルコチャイ+スイーツつき)

15:30-16:30

完全予約制

お支払いは当日現金になります



仁科エミ（解説）

東京大学文学部西洋史学科、工学部都市工学科卒業。東京大学工学系大学院都市工学専攻修士課程・博士課程修了、工学博士。日本学術振興会特別研究員、東京大学工学部助手、文部省放送教育開発センター助教授等を経て、放送大学教授。聴こえない超高周波の生理・心理・行動的効果（ハイパーソニックエフェクト）やメディア情報環境と人間の脳との適合性に関する研究、ハイパーソニック・コンテンツの収録・編集に取り組む。



石田秀幸（ネイ）

2003 年よりイスタンブールに一年間滞在し、トルコのスーアーイの葦笛「ネイ」をアイチャ・エンギン氏より、またバルカン半島からトルコ周辺に分布する羊飼いの笛「カヴァル」をトルコ国営放送のオスマン・アクタシュ氏、ブルガリアのカヴァルの権威リューベン・ドセフ氏、マケドニアの若手気鋭奏者バイサ・アリフォスフカ氏よりそれぞれのスタイルを学ぶ。



ウエダタカユキ（ウード、ケメンチエ他）

Tokyo modal music lab 代表。

97～99 年、米国バークリー音楽院にギター専攻で在学、Jamy Hadad 氏に師事。その後世界 30 カ国以上を旅しながら、イスタンブールで Elif Canfeza Gündüz ケメンチエを習い、ラバーブを Ustad Homayoun Sakhi に師事する。スーアーイアンサンブルではウード、ケメンチエを担当。民族楽器によるドキュメンタリー映画の音楽制作も手がける。

スーアーイの楽器と トルコオリエント音楽コンサート 出演者プロフィール



ムハンメット・リファット・チナル（スーアーイの歌）

1982 年トルコ共和国サムスン出身。1995 年ハーフィズ（クルアーンの暗誦者）の称号を得る。アンカラ大学神学部とアナドル大学経済学部行政学部を卒業。朗誦と宗教音楽の分野で訓練を受ける。2004 年にイマームハティップとして働き始める。その後、監査員さらに教育センターで朗誦と宗教音楽の教師として勤務を続け、2019 年に宗務庁から東京ジャーミイのイマームハティップに任命される。



鈴木未知子（カーヌーン）

洗足学園音楽大学打楽器コース卒業。国立音楽大学大学院修士課程修了。コンクール等入賞多数。ユヌスエムレ東京（トルコ文化センター）の研修生として 2017 年に短期渡土し、Atilla Akintürk 氏に師事。サウジアラビア、ドバイ、トルコなど中東諸国を始め、フランス、ドイツ、韓国、台湾など、国外でも幅広く精力的に活動している。ユヌスエムレ東京トルコ文化センター、カーヌーン講師。

ノミヤタカコ（パーカッション）

1998 年頃から中東の打楽器ダルブッカの演奏活動を始める。国内では海沼正利氏、エジプトで Hani Bedir 氏に師事。ダフ（枠太鼓）レク（アラブのタンバリン）も独学し演奏する。アラブやトルコの民謡、古典演奏、バルカンや東欧の音楽のみならずアフロファンク、ボサノバ、アイリッシュ、歌謡曲など多様なジャンルでの活動を通してダルブッカの可能性を模索。Le Club Bachraf に加入後アラブ古典に腰を据え、バーレーン、チュニジアでの公演経験を積む。（～2006）2007 年出産以降数年のブランクを経て、現在はアラブ古典やトルコ民謡を中心に活動中。